

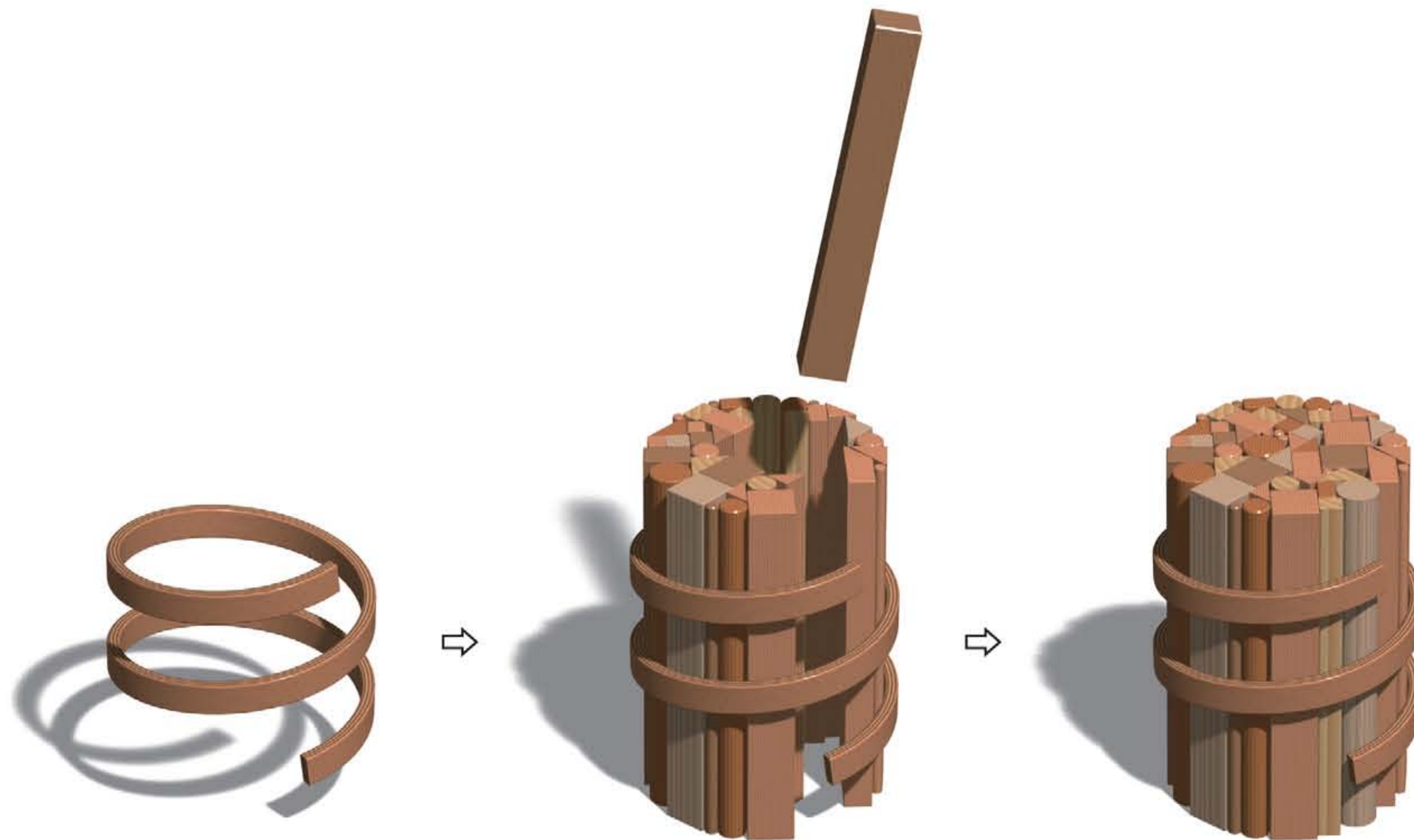
HUG HUG

単板を張合わせた螺旋が、中の木材を抱えて、1脚のスツールを作ります。

中の木材は、製材や他の家具を製作した時に出る端材を使用します。その時々に出る端材を使用しますので、形や木の種類は様々です。しかし、それが柄となって、個性あるスツールになります。

中の端材は取替えることができます。例えば、家をリフォームした時に出た木材や、バンドをしていた時のドラムスティック、旅先で拾った木の枝などの思い出の品を、スツールの一部として残せます。そのため、使う人はそれぞれのスツールに愛着を持って、長年使用して頂けると思います。

また、端材は無塗装・無接着のため、災害時などに薪として使用でき、木の生涯を終えます。



【組立て前】

成形合板でできた螺旋です。成形合板と形状の特性によって、少し弾性があります。弾性は、端材を抱えるのに役立ちます。

【組立て中】

成形合板でできた螺旋の中に、同じ長さに切り揃えた端材を入れていきます。釘や接着剤は必要ありません。

【組立て完成】

端材がいっぱいになると完成です。成形合板でできた螺旋が、中の端材を抱える形となり、端材は転倒しません。

